

## 平成28年度第2回紀の川市地域公共交通会議議案書（意見照会）

発送日　：平成28年12月16日（金）

提出期限：平成28年12月28日（水）

### 【議事】

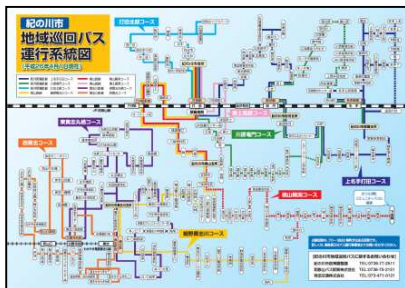
#### ○議案

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価案について  
（資料1）

#### ○報告

路線バス橋本線（和歌山バス那賀株式会社運行）の路線の一部廃止について  
（資料2）

#### 概要



#### 【紀の川市の概要】

人口	65,008人(平成28年3月31日現在)
面積	228.21平方キロメートル
合併状況	平成17年11月7日合併(5町)
過疎対策地域等指定	半島・山村
高齢化率	29.8%(平成28年3月31日現在)

#### 【紀の川市地域巡回バスの概要】

運行事業者	和歌山バス那賀株(粉河那賀路線・桃山路線) 有田交通株(貴志川路線)
路線数・コース数	3路線・8コース(国庫補助対象2路線・6コース)
運行日数(H27.10~H28.9)	363日(1/1~1/3は運休)
車両数	6台(リエッセ2台・ハイエース4台)
紀の川市補助金額	H26年度:31,283千円、H27年度:39,082千円

#### 【紀の川市公共交通会議開催状況】

H27.6.12(H27第1回)	H28年度地域内フィーダー系統確保維持計画等の協議
H28.1.21(H27第2回)	H27年度地域内フィーダー系統確保維持計画自己評価、 デマンド型乗合タクシー導入等の協議
H28.3.3(H27第3回)	地域巡回バス貴志川路線営業所位置変更に伴う、車庫 の継続設置の意見照会(書面)
H28.3.25(H27第4回)	地域公共交通会議会長選任の意見照会(書面)
H28.6.13(H28第1回)	H29年度地域内フィーダー系統確保維持計画等の協議

#### 資料1

#### 目的、計画、目標(Plan)

##### 【事業の目的】

○高齢者等の交通弱者の日常的な移動手段の確保、公共交通空白地域の解消

##### 【事業の計画】

○定時定路線による年間363日の運行及び広報・啓発活動

##### 【事業の目標】

(国庫補助対象路線のみ)

路線名称	粉河那賀路線	桃山路線	合計
利用者数	12,329人	11,543人	23,872人
1日あたりの利用者	33.9人/日	31.8人/日	65.7人/日

#### ネットワーク計画等の取組み(Do)

- 運行事業者に地域巡回バスを計画通りに運行するように依頼し、運行に関する支援を実施
- 平成28年3月：粉河高校・貴志川高校の新生説明会の資料として、時刻表等を配布
- 平成28年4月：デマンド型乗合タクシー路線の試行運行を開始(赤沼田地区)
- 平成28年8月：那賀病院前にて、街頭啓発及び啓発物資(ポケットティッシュ)配布

#### 実施状況、目標の達成(Check)

- 計画どおり年間363日の運行を実施
- デマンド型乗合タクシーの導入により、市内公共交通空白地域の解消に努めた
- 利用者数の実績は以下のとおり(国庫補助対象路線のみ)

路線名称	粉河那賀路線	桃山路線	合計
利用者数	15,064人	11,874人	26,938人
1日あたりの利用者	41.5人/日	32.7人/日	74.2人/日
結果	目標達成	目標達成	目標達成

#### 今後の課題、対応(Action)

- 平成26年のダイヤ改正の結果、粉河那賀路線の利用者は落ち込んだが、新ダイヤが浸透してきたこともあり、今年度に入り増加傾向になった。
- 平成28年4月に試行運行を開始したデマンド型乗合タクシーの運行状況を検証し、多様な公共交通の提供、鉄道や民間路線バスとの連携、利便性が高く市民が利用しやすい公共交通の構築について検討を行う。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 紀の川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 上名手打田コースA 名手駅前～紀の川市役所(経 由地:打田駅ほか)の運行	平成28年4月1日から、デマ ンド型乗合タクシーを粉河那賀路 線・鉄道に接続する形で導入。 利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発、管内高校へ時刻 表等を配布等を実施。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	平成28年4月から運行を開始し た、デマンド型乗合タクシーの 状況を検証し、多様な公共交 通の提供、鉄道や民間路線バ スとの連携、利便性が高い公 共交通の構築等を検討する。
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 川原竜門コース 紀の川市那賀支所～紀の川市 役所(経由地:粉河駅ほか)の 運行	平成28年4月1日から、デマ ンド型乗合タクシーを粉河那賀路 線・鉄道に接続する形で導入。 利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発、管内高校へ時刻 表等を配布等を実施。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	平成28年4月から運行を開始し た、デマンド型乗合タクシーの 状況を検証し、多様な公共交 通の提供、鉄道や民間路線バ スとの連携、利便性が高い公 共交通の構築等を検討する。
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 細野貴志川コース 紀の川市桃山支所～垣内(経 由地:貴志駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発、管内高校へ時刻 表等を配布等を実施。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	ダイヤ改正の結果、那賀病院 へのアクセスが向上し、利用者 は増加している。利用者増加の 原因をさらに検証し、改善項目 を次の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにす る。
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 桃山鞆淵コース 紀の川市役所～垣内(経由地: 打田駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発、管内高校へ時刻 表等を配布等を実施。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	ダイヤ改正の結果、那賀病院 へのアクセスが向上し、利用者 は増加している。利用者増加の 原因をさらに検証し、改善項目 を次の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにす る。
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 上名手打田コースB 名手駅前～名手駅前の運行	平成28年4月1日から、デマ ンド型乗合タクシーを粉河那賀路 線・鉄道に接続する形で導入。 利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発、管内高校へ時刻 表等を配布等を実施。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	平成28年4月から運行を開始し た、デマンド型乗合タクシーの 状況を検証し、多様な公共交 通の提供、鉄道や民間路線バ スとの連携、利便性が高い公 共交通の構築等を検討する。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	紀の川市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>平成17年11月7日に旧那賀郡内の5町(打田町、粉河町、那賀町、桃山町、貴志川町)が合併し、紀の川市が誕生しました。この合併により市の面積が228.21 Km<sup>2</sup>と拡大し、高齢者や障がい者などの交通弱者にとって市内の移動が困難となったこと、また公共交通事業者の不採算バス路線撤退等による公共交通空白地域の増加等の問題も生じていたことから、「交通弱者の日常的な移動手段の確保」、「公共交通空白地域の解消」を目的とし、地域巡回バスの運行を開始しました。</p> <p>現在では、この地域巡回バス路線の認知度も、高齢者の方々をはじめとして、徐々に浸透してきているところです。また高齢化、人口減少対策として、市全体で定住施策を推進している中で、公共交通の充実も定住条件の一つと考えられます。</p> <p>以上のことから、引き続き、行政・市民・事業者等が協力し一体となって、この地域巡回バスの路線確保、サービス提供の維持を行っていきたいと考えております。</p>

# 路線バス橋本線（和歌山バス那賀株式会社）の路線の一部廃止について（報告）

廃止時期：平成29年3月31日（予定）

廃止箇所：那賀営業所前バス停～橋本駅前区間（紀の川市内のバス停：名手、穴伏）

廃止理由：JR和歌山線沿線を運行しており、利用者が減少しているため

【直近の利用実績】

輸送人員・本数	H28.7	H28.8	H28.9	H28.10	合計
輸送人員（人）	306	317	323	329	1,275
運行本数（本）	80	84	80	80	324
1便あたりの人員（人）	3.8	3.8	4.0	4.1	3.9

## 和歌山バス那賀 一般路線運行系統図

平成28年3月26日現在

- ◆ 系統番号を□で囲んだ停留所は、その系統番号の路線の始発または終着を示します。
- ◆ 系統番号が「2」ではじまる3桁の系統番号は、南海和歌山市駅発着を示します。
- ◆ 系統番号が白地に青色文字のものは近畿大学を発着・経由する系統を示します。
- ◆ 路線により同じ停留所でも位置が異なることがあります。
- ◆ 急は特急系統です。停車停留所にご注意ください。

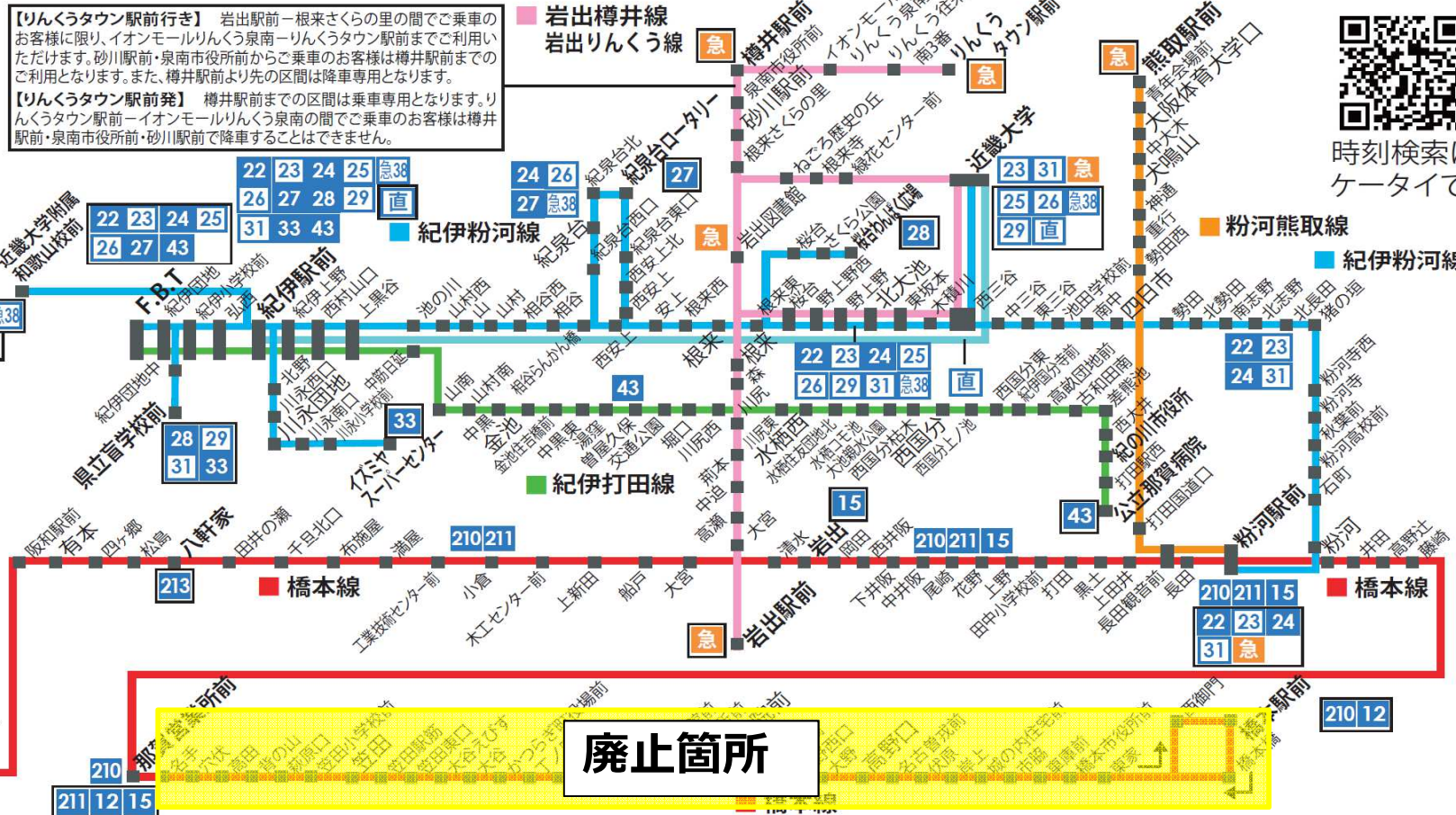
### 急38系統について

紀伊駅前～近畿大学附属和歌山校前間はノンストップで運転。近畿大学附属和歌山校前～紀伊駅前以東の停留所間の定期券をお持ちの方は、紀伊駅前～鳴滝団地・近畿大学附属和歌山校前間は和歌山バス83・84系統をご利用いただけます。

【近畿大学附属和歌山校前行き】 紀伊駅前から近畿大学附属和歌山校前行きへのご乗車はできません。

【りんくうタウン駅前行き】 岩出駅前～根来さくらの里の間でご乗車のお客様に限り、イオンモールりんくう泉南～りんくうタウン駅前までご利用いただけます。砂川駅前～泉南市役所前からご乗車のお客様は樽井駅前までのご利用となります。また、樽井駅前より先の区間は降車専用となります。

【りんくうタウン駅前発】 樽井駅前までの区間は乗車専用となります。りんくうタウン駅前～イオンモールりんくう泉南の間でご乗車のお客様は樽井駅前～泉南市役所前～砂川駅前で降車することはできません。



時刻検索は  
ケータイで!

（※）公園前西は南海和歌山市駅発の各便のみ停車します。

**廃止箇所**